

令和 6 年 8 月 27 日



守山市 記者提供 資料

担当部署 社会福祉法人慈恵会
 担当者 西村
 電話 077-585-4533
 Mail t-nishimura@yuinosato.or.jp

社会福祉法人慈恵会「みんなの3×3バスケットボールコート」オープン！ 地域向け多世代型交流イベントを開催

この度、社会福祉法人慈恵会では、2024 年度日本郵便年賀寄付金の助成を受け、法人敷地内の遊休地に多世代交流を目的とした3×3バスケットボールコートを整備することになりました。

コロナ禍で失われたつながりを取り戻すべく 2017 年 7 月から多世代が集える居場所づくり（サードプレイス化構想）を実施しており、その一環で整備するものです。

これを記念し、下記のとおり、日本郵便株式会社による補助金の贈呈式およびオープニングイベントを開催します。これを機に、地域に開かれたバスケットボールコートを広く周知し、青少年を中心とした新たな居場所づくりが出来ればと考えていますので、ぜひとも取材にお越しく下さい。

記

- 1 日時 令和 6 年 10 月 6 日（日） 午前 10 時から正午まで
 - ・第 1 部 日本郵便年賀寄付金配分事業 贈呈式 午前 10 時～午前 10 時 30 分
 - ・第 2 部 オープニングイベント 午前 10 時 30 分～正午
 - ①バスケットボールスクール JUMP さんによる 3×3 バスケットボール
 - ②フリースロー大会 ※誰でも参加OK、事前申込み不要

※雨天の場合は、第 2 部中止。第 1 部のみ、地域交流ホームゆいで開催。
- 2 場所 みんなのバスケットボールコート
 （住所：守山市笠原町 1 3 7 0 ）
- 3 対象者 主に青少年、バスケットボールに興味がある方全般
- 4 施設概要
 - ・面積：約 506 ㎡（幅 22.5m×奥行 22.5m）うち、コート 165 ㎡（幅 11m×奥行 15m）
 - ・駐車場、駐輪所あり
 - ・利用料無料、利用時間 8:30～17:30

※詳細は別添の資料をご参照ください。

Free
to
all

2024 10/6 open

みんなの 3×3バスケコート

『みんなの3×3バスケットボールコート』オープン記念
～地域向け多世代型交流イベント～

日時:2024年10月6日(日)

場所:みんなの3×3バスケットボールコート (ゆいの里保育園てとの隣)

10:00~10:30 第1部 日本郵便年賀寄付金配分事業贈呈式

10:30~12:00 第2部

1. バスケスクールのJUMPさんの子供達による3×3バスケ
2. フリースロー大会 ★誰でも参加OK、事前申し込み不要
(雨天の場合:第2部は中止、第1部のみ地域交流ホームで行います)

map



information

社会福祉法人慈恵会

〒524-0103 滋賀県守山市洲本町1

TEL 077-585-4533



日本郵便 年賀寄付金

この施設は、2024年度日本郵便年賀寄付金の助成を受けて整備しました。



ゆいの里 多世代交流型サードプレイス化構想

(別名：みんなの居場所づくりプロジェクト)



2024年 6月 21日 (ver.05)

社会福祉法人慈恵会

Jieikai Social Welfare Co.

[背景]

私たちの社会福祉法人慈恵会は、平成5年頃から地域の福祉活動に力を入れてきました。しかし、コロナ禍によって、一時はすべての活動が止まってしまいました。

この大変な時期を経て、失われた地域とのつながりを取り戻し、新たな形で地域活動を再開したいと考えるようになりました。

幸いにも、施設の建替えや事業環境の変化により、施設を再活用する絶好の機会が生まれました。

一度立ち止まったからこそできる取り組みだと感じています。

法人理念である「くらしをよくする、まちをやさしくする」ために、慈恵会だからこそできることがある。

私たちは多世代が互いを支え合い、つながる、“結(ゆい)のある場”をつくることを目指して、新しいプロジェクトをスタートさせました。

[コンセプト] **福祉施設をひらき、人がつながり・支えあう“結(ゆい)のある場”をつくる**

さまざまな社会背景も影響してか、これまで閉ざしがちであった福祉施設。

まちの中にある困りごとを解決するための手段として、ゆいの里 多世代交流型サードプレイス化構想を実現させていくことで、ひらき・つながり・支えあう（=結）ような関係性が自然と生まれる場づくりを目指す。

*慈恵会 2040年ビジョン 一部抜粋

どんな人にも出番や役割があって、なんどだってやり直せて、つらいこともいろいろあるけど、いいこともたくさんあって、みんながほどほどに幸せを感じられて、共に生きることができる。

私たちは、福祉をひらき、まちをやさしくすることを目指します。

[全体像]

ゆいの里 多世代交流型サードプレイス化構想 (別名：みんなの居場所づくりプロジェクト)

コンセプト 『福祉施設をひらき、人がつながり・支えあう “結(ゆい)のある場”をつくる』

本部エリア

老老介護 世帯向け シェアハウス

旧特養を再活用し、増えている老老介護世帯の孤立を防ぐための取り組みを進めたい💡

2026年頃

準備中

Coming Soon!



記号について【説明】

- 完 すでにスタートしている取り組み
- 準備中 スタートに向けて準備中の取り組み
- 未 構想段階にあり、具体的なスタートはしていない取り組み

保育園エリア

市民農園 シェアファームゆい

2024.2~

完

遊休地を自分たちで開墾し、地域を巻き込んだノウハウ連携の拠点に🍎そして、食材がほしい🥬

地域交流ホームゆい エリア

地域の食堂 気まぐれマルシェ

2021.7

完

地域の中高年の御用達！
格安ランチと喫茶あり🍷

こどもの居場所 少年&少女 秘密基地

2023.8

完

昭和感が満載の基地にフリーwi-fiの令和感も織り交ぜて🎮

地域サークル・ボランティア活動拠点

2021.7

完

様々なサークル・ボランティア活動のたまり場として展開中！

地域向け 定期イベントの開催

2022.4

完

ゆいの里発 各種イベント開催中🍷
セミナー・フリマ・コンサートetc.

仮) 地域でシェアできる バリアフリー銭湯の復活

未

バリアフリー銭湯を復活させ、地域にある多様なニーズに応えたい🛀

ケアハウス エリア

だがし屋さん (仮)ji-ba

高齢者が営む駄菓子屋さんをオープンさせたい🍡

- # 高齢者×こども
- # 高齢者の出番づくり

2024年頃

未

仮) みんなの3×3バスケコート

スポーツ×福祉、青少年×高齢者、有機的な多世代交流を生み出す場を作りたい🏀

2024.10~

準備中

子育てサロン *自治会とコラボ

保育士と児童民生委員
自治会が苦戦中の子育てサロンを保育園機能を使って共催したい🍷

未定(構想中)

未

すでにスタートしている活動

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
			●	●	●

▶ 地域の食堂 きまぐれマルシェ



2021年 7月~

地域をつなぐ「きまぐれマルシェ」：コロナ禍でも輝くベテランの力

コロナ禍においても地域住民の交流の場として機能し続ける「きまぐれマルシェ」。ベテラン管理栄養士が長年の経験と人脈を活かし、多くのボランティアを引き寄せ、地域食堂として週4日の営業を実現しています。

おばちゃんたちが培ったスキルと力強さで、その日利用できる食材を最大限に活用し、美味しいワンプレートランチを提供。

近隣の農家やフードバンク、社会福祉協議会からの食材提供を受けることで、フードロス対策にも貢献しています。

この地域食堂は、地域コミュニティの絆を深め、住民にとっての憩いの場となっています。



多い時は一度に30名ほどの来客も。
ボランティアのついでにお食事をとった使い方もアリ。

メニューはおまかせの1種類だけ。
ベテラン管理栄養士が冷蔵庫にあるもので作る栄養満点のメニュー。
美味しいと評判です。

テラス席もあります。
食後のコーヒー&手作りシフォンケーキも好評です。

高齢者

ボランティア

地域住民

職員

▶ 地域の活動拠点 各種サークル・ボランティア活動

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
				●	●

2021年7月~

地域活動に新風！社会福祉法人が提供する 「開かれた活動拠点」

地域住民の声に応え、新たな取り組みを開始しました。利用者の増加中の「地域食堂 きまぐれマルシェ」と連携し、空いている時間帯に地域サークルの活動拠点として場所を提供。

中高年の活動参加者が増加し、活動後のランチや交流の時間も広がり、地域コミュニティの活性化に寄与しています。



歌声喫茶と練習（毎週）



太極拳サークル（毎週）



いきいき百歳体操（毎週）



自治会消防団との演習（毎年）

200名超のボランティアと共に再始動！

コロナ禍で一時中断したボランティア活動を再開しました。お互いを支え合う大切さを再認識し、接触を避けながら参加できるマスク製作活動からスタート。

一時期は登録者数も減少傾向にありましたが、元気と活気が戻りつつある地域社会で、再び日常が芽吹いています。

この活動は、施設内のコミュニティの絆を深め、元気の源となっています。



車いすの清掃チーム



裁縫チーム



お茶会の開催



謡曲の発表



書道の先生

ボランティア

地域住民

高齢者

職員

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
			●	●	●

▶ 地域向け 定期イベントの開催

2022年 4月~

コロナを乗り越え、集合型イベント再開へ！

コロナウイルスの影響で一時中断していた地域向けイベントを、新しい生活様式を取り入れつつ再開しました。地域食堂や様々な活動のスタートを機に、私たちは再び地域コミュニティを形成し、人々を繋げる役割を果たすことができるようになりました。

この仕切り直しのプロセスでは、「何のため」「誰のため」に活動を行うのか、といった本質的な問い直しが行われ、新たなアイデアや意見交換が活発になりました。これにより、多様なバックグラウンドを持つ関係者との連携が強化され、私たちの活動の輪が広がっていることを実感しています。



専門職による地域向けリハビリセミナー



フリーマーケットの開催 キッチンカーも登場



0歳から100歳コンサート



人生を語る・学ぶライフストーリー学

こども

地域住民

職員

高齢者

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
●	●				●

▶ こどもの居場所 少年 & 少女 秘密基地

2023年 8月~

子供たちの新たな遊び場！ 福祉施設の一部が地域の居場所に

新興住宅地が増加する中、私たちは子供たちの居場所づくりに乗り出しました。地域の子供数は100名を超えるものの、外で遊ぶ子供たちの姿が少ないという現状を受け、居場所の必要性を感じる声が多く寄せられました。

そんな中、福祉施設の空きスペースを活用して夏休み限定の子供向けの居場所を設立。県と連携し無料wi-fiを設置、さらに多くの遊び道具の寄付を受け、清掃や設営、利用のためのルール作りを実施しました。

地域食堂の営業日に合わせて週4日この場所を開放。

様々な年齢や性別の子供たちが集まり、地域の人々との交流の場としても動き出しました。

特に地域食堂での活動を支える方々と子供たちが自由に過ごす姿は、新しいコミュニティの形成を感じさせます。

更に、子連れでの勤務も試験的に導入し、地域全体で子供たちの成長をサポートしています。



ゆいの里 少年 & 少女 秘密基地
ひみつきち

秘密基地

2023.10月 再オープン

なんと！
参加無料
さんかむりょう

ドド

けつ か めく さん
月・火・木・金ようび
★ 祝日も利用できます

4月 から 9月	午後1時~5時まで
10月から3月	午後1時~4時まで

ちいせこうりゅう
ゆいの里 地域交流ホーム

秘密の出入口 わかるかな?!

問合せ先 ☎ 077-585-4533 ゆいの里 本部

秘密基地のメニュー

- 無料Wi-Fiあり
- クーラー・暖房つかえます
- ボードゲーム・カードゲーム
- マンガ・本
- 自習（宿題）コーナー
- ゲーム もちこみOK
- 自動販売機（ジュース・チョコレート・カップラーメン）
- その他...

秘密基地のきまりごと

- 第1条 あいさつはきちんとしなはれ！
- 第2条 おじいさんとおばあさんは 大事にしなはれ！
- 第3条 あそんだら かなづけるべし！
- 第4条 ゴミすでのルールは守るべし！
- 第5条 外遊びはきまった場所でやりなはれ！

こども

地域住民

職員

高齢者

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
●			●	●	●

▶ 市民農園 シェアファームゆい

2024年2月~

ひとは「作業」をすることで元気になれる (日本作業療法士協会)

施設移転後に残った 建設現場事務所跡地を何か有効利用できないかと考えました。

みんなが使える畑を作ろう！そこで収穫されたお野菜の一部を地域食堂におすそ分けしてもらえたらうれしいな！！

思い付きから始まった取り組みですが、仕事の合間に自分たちで開墾をし、2024年2月にスタートしました。

現在、絶賛メンバー募集中です。



メンバー募集中

2024.01

社会福祉法人慈恵会

市民農園
シェアファーム ゆい

場所 守山市笠原町1570 (ゆいの里保育園となり)

広さ 約 12㎡/区画 全区画
駐車場・飲水機・トイレのご利用可能です。

料金 半年あたり **2,500円**
収穫された野菜等のおすそ分け、数回します♪
こども・高齢者・地域食堂で活用させていただきます。

窓口 ケアハウスゆいで申込受付します
☎077-585-6131 (平日9時~17時)

くらしをよくする、まちをやさしくする。
地域のみなさんと手を取り合い、新鮮な野菜や草花を、一緒に育てましょう。
小さな種から芽吹く頃、その成長に感じる喜び。みんなで作る農園からは、作物だけでなく、人と人との絆も育まれます。
写たちとともに地域に根ざり、どきどきの一歩を、あなたも一緒に踏み出しましょう。

- こども
- 地域住民
- ボランティア
- 高齢者

スタートに向けて準備中の活動

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
	●	●			

▶ (仮) みんなの3×3バスケットコート

近所にバスケットボールができる場所がない 🌧️

市内には屋外で気軽にバスケットボールができる場所がありません。そこで、遊休地になっており、使用頻度のほとんどなかった保育園横の多目的グラウンドを3×3バスケットボールコートにします。コートが完成すれば、市内外でチーム化されてきている3×3バスケットボールクラブにも利用いただけるようになり、地域の子供たちもスポーツに触れ合う機会が増えるはずです。そして、福祉施設になじみのない青少年たちも、スポーツすることを通じて福祉に触れ、多世代交流の機会となればうれしいと思っています。年に1~2回は地元の子供たちを対象にしたスポーツイベントの開催も企画します。スポーツ×福祉で、日常にさらに彩りが生まれるものと考えています。



※イメージ画像（奥びわスポーツの森HPより転載）

2024年10月~ (予定)

★2024年度 日本郵便年賀寄付金による社会貢献事業助成 採択事業



幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
				●	●

▶ 老老介護世帯向けシェアハウス

★令和5年度 国交省住まい環境整備モデル事業 事業育成型モデル採択事業

増える老々介護世帯、先の見えない介護が孤立につながる

旧特養を再活用し、老々介護世帯同士が支えあって暮らしていける、既存の制度の枠組みを超えた「住まい」と「住まい方」の提供を目指します。

建物転用や都市計画法など、ひとつずつハードルを越えていけるよう行政との連携も欠かせません。



国交省への提案内容（概要）

昭和50年代に供給された多床室型の特別養護老人ホームは、設備の老朽化や、多床室型からユニット型への制度の移行により、建物の不良資産化が課題となっている。一方、高齢夫婦世帯が認知症や身体機能の低下により介護が必要になった際、引き続き、夫婦と一緒に安心して暮らせる住まいの確保が課題となっている。

本提案は、社会福祉法人が保有する、旧特別養護老人ホーム(多床室)を活用し、介護を必要とする高齢世帯が安心して居住できる複合的な支援付きシェアハウスの構築を目指す。本事業では、家賃低廉化を実現するシェアハウス運営モデルの構築、介護夫婦世帯のシェアハウスモデルの有効性の検証、人的支援とITを組み合わせた複合支援体制の検証を行う。

* イメージ画像

みんなのリビング、居住者同士のつながりの様子

令和5年度 住まい環境整備モデル事業 (事業育成型)

提案内容の概要

【事業名称】
不良資産化した不動産活用(旧・特別養護老人ホーム)
シェアハウス運営モデル構築

代表提案者: 社会福祉法人慈恵会
共同提案者: 株式会社ケア・フレンズ

CHAPTER 3.0
提案内容

4

【事業育成型】

① 既存ストック×
シェアハウス

② 要介護状態(本人)×
シェアハウス

③ 介護者(家族)×
シェアハウス

④ HR Intec×
シェアハウス

ライフコミュニティサポート付高齢者向けシェアハウス
【住まい】と【住まい方】

Human Resource + Information Technology

今後取り組んでいきたい活動

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
●	●				

▶ **だがし屋さん** ジーバ (仮) **ji-ba**

町内にあったお店が閉店しちゃった💧

こどもたちの大好きな駄菓子を買えるところは近所がない。
 じゃあ施設内に作れないかと店番をしてくださる高齢者さんを募集中！！
 住む×はたらく×社会とつながる
 高齢者さんにとっての出番づくりが地域のこどもたちにとってのHAPPYに。
 そんなことを期待しながら開店に向けて準備中です。



※イメージ画像（シルバー産業新聞より転載）

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
●		●	●		

▶ **子育てサロン** *自治会とコラボ

コロナ以降、自治会の子育てサロンは開催されていない💧

自治会長さんとお話しする中でそんな話がありました。
 民生児童委員さんが実施することになっているのですが、民生児童委員さん自身が多忙であることや世代の違いもあってお母さん方のニーズに応えるだけの企画にならないために行き詰まり感を持っておられる様子。
 幸いにも当法人では、2022.4から企業主導型保育園tetoteがオープンし保育士（専門職）も常駐しています。
 安全に遊べる園庭や部屋も確保されており、地域の民生児童委員さんと保育士が協働して子育てサロンが開催できれば、若い世代のお母さん方にもきっと喜んでもらえるのではないかと考えています。

課題は人手と時間捻出です。

地域の大事な子どもたちのために、保育士業務の整理や企画のための時間捻出の目途がたてば、ぜひスタートさせたいと思います。

NOW PRINTING

幼年 0~4	少年 5~14	青年 15~24	壮年 25~44	中年 45~64	高年 65~
●	●	●	●	●	●

▶ 地域でシェアできるバリアフリー銭湯の復活

障害や病気を抱える家族がいると銭湯は利用しにくい💧

市内には障害を抱えた方やその家族が安心して利用できる銭湯がありません。従来の銭湯では、バリアフリー対応が不足しており、老々介護世帯や障害児者の家族にとっては環境的に不適合であったり、周囲に迷惑をかけてしまう懸念から利用を控えるケースが多いのが現状です。

地域交流ホームの岩風呂は、広々としたバリアフリー仕様で多くの方々に愛されてきましたが、設備の老朽化により現在は使用できない状態です。このプロジェクトでは、復旧のための設備更新（≒資金調達）の課題を克服し、再び誰もが安心して利用できる銭湯を復活させることを目指しています。

地域全体でシェアし、共に楽しめる場を提供することで、全世代が笑顔で集う温かいコミュニティを創り出したいと考えています。

さらに、当施設は福祉避難所としても指定されており、自然災害発生時には前にある広域避難所（予測規模1,500人）の被災者の癒しのお風呂場として提供する予定です。災害時にも地域住民にとって重要な役割を果たすことを念頭に置いて進めていきたいと考えています。



※脱衣所（画像）
4~5名程度なら広々使え、シャワーチェアや
キャリーなどの福祉用具も利用可能



※ボイラー設備（画像）
老朽化して使えなくなっ
たまま放置されている



※浴室（画像）
障がいがあっても安心して使えるバリアフリー仕様の岩風呂

さらなるアイデア 企画中

Coming Soon!